

紺屋 SCHOOL 2016

2016年10月～2017年3月

「紺屋スクール2016」受講生募集

テーマ 身の振り方

名称	紺屋スクール2016	
場所	紺屋2023 福岡市中央区大名1-14-28 第一松村ビル	
開催期間	2016年10月～2017年3月(全6回)	
時間	18:00～20:00	
受講料	一般	konya-account member会員
通し(全6回)	9,000円	6,000円
単発	2,000円	1,500円

※konya-account memberとは…紺屋2023におけるTRAVEL FRONT主催のイベントやサービス等において割引や優待などが受けられます。詳しくはHPをご覧ください。
※講座後の交流会参加費は別途。

通し受講申込方法 下記の情報を明記し、メールにてお申し込み下さい。

- 1.氏名 2.氏名ふりがな 3.所属先・学校名
 - 4.年齢(10月時点) 5.性別 6.メールアドレス
 - 7.緊急連絡先 8.応募動機
 - 9.konya-account member申込希望の有無
- E-mail:travel-front@travelers-project.info

※お送りいただいた情報は紺屋スクールに関する目的以外には利用いたしません。

先着15名／9月30日(金)締切

お支払方法は受付後メールなどで改めてご連絡します。

◎お申込み後3日以内にメールにて受付完了のお知らせをお送りします。3日過ぎても連絡がない場合はお問合せください。

単発受講申込方法 当日先着順に受付いたします。

対象年齢 20～40歳

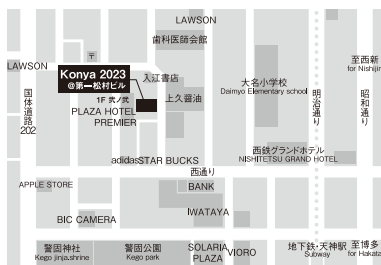
講座毎定員 30名(単発受講含む)

主催 紺屋2023(トラベラーズプロジェクト)

協力 九州大学大学院芸術工学研究院・池田研究室



写真はイメージです



紺屋2023事務局

〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-28

第一松村ビル201

tel&fax.092-984-6292

travel-front@travelers-project.info

201,Daiichi Matsumura building,

1-14-28,Daimyo,Chuo-ku,Fukuoka,JAPAN 810-0041

http://www.travelers-project.info

最新情報はHPにて確認ください



テーマ 身の振り方

様々なジャンル・立場・世代から、
これからの自分を考える。

紺屋2023のスクール事業を再開します。
紺屋2023ではこれまで、『紺屋サマースクール』(開催年:2009-2011,2013)として、「アカデミーとリアリティの両立」や「学びの原点」などをコンセプトに、紺屋2023ならではの学びの場をつくってきました。
今回あらためて紺屋2023の現状と特徴、社会状況を見直し、今の紺屋2023だからこそ提供できる学びの場があると思い、3年ぶりに再開することとなりました。
講座形式や開催時期、対象年齢、体制などをゼロから組み立て直し、新生紺屋スクールとして開校します。

紺屋2023は、トラベルフロントが企画・運営する3つめの建物再生プロジェクトです。期間は、2008年から2023年までの15年間。築約50年のビルの17部屋には、様々な業種のディレクターが集います。「未来の雑居ビル」をテーマに、業種・年齢・国籍・民族・時間・用途・目的、など様々な要素が雑居します。これらの要素が、集合・離散しながら思考・試行を重ね、新たな価値と文化の醸造をめざします。

主催:紺屋2023(トラベラーズプロジェクト)

協力:九州大学大学院芸術工学研究院・池田研究室

TRAVEL FRONT



紺屋スクール2016概要

「未来の雑居ビル」をコンセプトとする紺屋2023には、様々なジャンルにおいて多様に働き、独自の道を歩んでいる人たちがいます。一見すると彼らはその実現力によって描いた通りに進んでいるように見えるかもしれませんが。しかし実際は周辺環境や社会から影響を受け、様々な選択を重ねた結果が形成したものであるはず。そしてそれらの魅力は、実現力ではなく良し悪しを含めた「身の振り方」にあるように思います。今回はそんな紺屋2023で活動する人(ホスト)が彼らが魅力に感じる人(ゲスト)を迎え、受講生の皆さんも交えて、それぞれのジャンル・立場・世代の「身の振り方」について考えます。

PROGRAM/SCHEDULE

10.21 FRI 18:00~20:00

建築・都市・行政

ホスト 野田 恒雄

number of design and architecture 代表

ゲスト 小田嶋 鉄朗／横浜市都市デザイン室

桂 有生／横浜市都市デザイン室

1.12 THU 18:00~20:00

IT・エコノミー

ホスト 村上 純志

AIP 事務局長

ゲスト 随時発表

11.10 THU 18:00~20:00

現代アート・アートプロジェクト

ホスト 宮本 初音

ART BASE 88 代表

ゲスト 随時発表

2.16 THU 18:00~20:00

グラフィック・ブランディング

ホスト 野呂 英俊

HIQU DESIGN 代表取締役

ゲスト 随時発表

12.8 THU 18:00~20:00

演劇・フェスティバル

ホスト 糸山 裕子

Art Management Center Fukuoka 代表理事

ゲスト 鄭 慶一

枝光本町商店街アイアンシアター運営代表

3.16 THU 18:00~20:00

都市・まちづくり・編集

ホスト 佐々木 喜美代

NPO法人アジア・エイジング・ビジネスセンター 上席研究員

ゲスト 随時発表

未定のゲストに関する情報は随時HPにアップしますので、ご確認ください

GUEST & HOST PROFILE



【建築】

野田 恒雄

1981年京都生まれ。東京立大学(現首都大学東京)卒業(小泉雅生研究室)。青木茂建築工房を経て、'05にTRAVELERS PROJECT始動。冷泉荘や紺屋2023で、アーバンデザイン賞、福岡市都市景観賞、法政大学イノベーションポリシー賞。共著で「アートプロジェクト芸術と共創する社会(熊倉純子監修 水曜社)」等。'14より横浜市都市デザイン室都市デザイン専門職兼務。



【アート】

宮本 初音

1962年生、福岡在住。1980年代より街のなかの作品展示、アーティストインレジデンスなどを企画。2008年から「ART BASE 88」を運営。近年の企画として釜山との交流プログラム WATAGATA Arts Network、九州芸文館でのアーティストインレジデンス「筑後アート往来」など <http://artbase88.wordpress.com/>



【IT】

村上 純志

前職のプログラマー・SEを経て、企業・若年者・女性向けにITスキル習得の実践型講座を提供する育成事業を展開している「特定非営利活動法人AIP」事務局長を務める。また、福岡の各コミュニティの活動拠点の一つ、大名のAIP Cafeの管理人。コミュニティを支援する活動を行うとともに、短中長期的なIT人材の輩出やITを活用した地域の仕組み創りに取り組んでいる。



【都市デザイン】

桂 有生

横浜市 都市デザイン室 都市デザイナー。東京芸術大学建築学科卒業後、安藤忠雄建築研究所、山本理顕設計工場を経て、2007年、公募による専門職として横浜市都市デザイン室。14年東京大学大学院工学系研究科都市持続再生学コース都市デザイン研究室修了。主なプロジェクトに横須賀美術館、象の鼻パーク、OPEN WEDDING!!など。



【演劇】

糸山 裕子

高校で演劇を始め、卒業後旧日本長期信用銀行福岡支店入行。4年後上京し養成所や劇団を経て帰福。2004年NPO法人アートマネジメントセンター福岡設立。福岡演劇フェスティバル事務局長。2011年元ホームレス自立支援の事業開始。「指輪ホテル」(東京)制作。福岡市ばんばプラザホール指定管理代表、福岡県ももち文化センター館長。



【グラフィック】

野呂 英俊

1972年鹿児島生まれ。1992年より15年間、デザイン制作プロダクションを経て2008年にNORO Ad.D DESIGN(現HIQU DESIGN)設立。ロゴマークやブランディングを中心に。TRAVELERS PROJECTアートディレクター。福岡広告協会賞入賞。2009年ショールーム兼サロンであるHIQU ROOM開設。2011年に株式会社イングラを設立。



【都市デザイン】

小田嶋 鉄朗

横浜市都市デザイン室担当係長。ランドスケープアーキテクト。横浜生まれ横浜育ち。東京農大造園学科同修士課程修了後、横浜市役所に造園職として入庁。都市デザイン室は2度目計14年目。日本大通り、歴史を生かしたまちづくりを担当。



【舞台芸術・拠点運営】

鄭 慶一 Chung Kyung ilu

2013年4月より福岡県北九州市にある「枝光本町商店街アイアンシアター」の運営代表を務める。『地域にアートは必要か?』をテーマに、様々なアーティストとの共同事業を行う傍ら地域活動にも積極的に参加し、本当に持続可能性のある芸術活動を模索する。主な主催事業として「枝光まちなか芸術祭」「勝手に来やがれ踊る商店街」「東北days」を手がける。



【都市研究】

佐々木 喜美代

福岡大学を卒業後、1976年に福岡のタウン情報誌「シティ情報ふくおか」を発行する(株)プランニング秀巧社に入社。編集長、発行人となる。2000年に退社。2001年から九州大学大学院に入学。その後、博士課程に進学し博士に。2006年からは5年任期で福岡市市長室広報課課長に就任。任期終了後、福岡アジア都市研究所を経て現在に至る。



写真はイメージです